

昨年五月、ある国立病院の診察室。六十代の男性患者の体内を断層撮影した何枚もの画像を医師が食い入るように見つめる。左腎臓付近に赤く光る一点がある画像を発見。「これだ」。レントゲンやコンピュータ断層撮影装置(CT)で見つからなかった、腹部リンパ節に転移した初期のがんだった。

### 年1800症例

利用したのは、体内に放射線同位元素を注入して数ミリのがんでも発見できる「陽電子放射断層撮影装置(PET)」。導入しているのは国内約四十の施設のみだ。

男性患者の画像を撮影したのは、実は国立病院ではなく西台クリニック画像診断センター(東京・板橋)だった。国立病院にもPETはあるが「同クリニックは装置の精度

## 第4部 変われるか病院

が高く専門医も蓄積している(主治医)ため検査を任せた。西台クリニックはPETは心臓病治療を専門とする。T診断の専門施設。保険のきかない自由診療だが、年間千八百人以上を診断するこの分野でトップレベルの医療機関だ。画像を手がかりに国立病院ですぐに治療に取りかかった。

# 専門の技 連携で生きる

「手がける症例数が多い治療所だけでなく、大学病院や医療水準は高くなる」。国らの紹介患者が引きもきらない医療・病院管理研究所の長谷川敏彦・医療政策研究部長はこう指摘する。ある病気の診断や治療について経験豊富な専門施設に患者を集中すれば、よりの確な医療につながるなどメリットは大きいはずだ。

「総合病院では専門性を高めるための体制が不十分」。小規模ながら特定の高度医療を専門とする医療機関は国内でも増えつつある。だが、専門特化した医療機関も特徴を生かしきれないでいる。「地域の中核病院にはぜひ

### 巨艦主義

「総合病院では専門性を高めるための体制が不十分」。小規模ながら特定の高度医療を専門とする医療機関は国内でも増えつつある。だが、専門特化した医療機関も特徴を生かしきれないでいる。「地域の中核病院にはぜひ

必要」と東京近郊のある総合病院は二年前に心臓外科を新設したが、手術件数は月二、三件。隣りに心臓外科のある大学病院がすでに存在するためだ。

「糖尿病管理協議会」。藤根東部の広瀬町など二市二町の自治体や医師会が九八年四月に発足させたこの組織の活動は、当初の思惑を超えるて広がった。

患者に「糖尿病手帳」を渡す。開業医と中核病院の専門医がそれぞれ検査結果や治療内容を記録して情報を共有。

「患者は、情報を郵便か、ファクス(03・5255・52420)、電子メール(mrs.3@toyoko.nikkei.co.jp)でお寄せください。

取材班は木村彰、滝順一、阪本浩伸、大林尚、山口聡、田口正則、清水美宏、名波彰人、宮越慎哉、中前博之、木原まゆみ、堤篤史、前村聡、西村峻、半田裕久で構成した。

「糖尿病手帳」を渡す。開業医と中核病院の専門医がそれぞれ検査結果や治療内容を記録して情報を共有。

取材班は木村彰、滝順一、阪本浩伸、大林尚、山口聡、田口正則、清水美宏、名波彰人、宮越慎哉、中前博之、木原まゆみ、堤篤史、前村聡、西村峻、半田裕久で構成した。



モニターを見ながら心臓血管の治療を行う鈴木孝彦院長(中央)と愛知・豊橋の豊橋ハートセンター

「糖尿病管理協議会」。藤根東部の広瀬町など二市二町の自治体や医師会が九八年四月に発足させたこの組織の活動は、当初の思惑を超えるて広がった。

### 二人三脚

「糖尿病管理協議会」。藤根東部の広瀬町など二市二町の自治体や医師会が九八年四月に発足させたこの組織の活動は、当初の思惑を超えるて広がった。

「糖尿病手帳」を渡す。開業医と中核病院の専門医がそれぞれ検査結果や治療内容を記録して情報を共有。

取材班は木村彰、滝順一、阪本浩伸、大林尚、山口聡、田口正則、清水美宏、名波彰人、宮越慎哉、中前博之、木原まゆみ、堤篤史、前村聡、西村峻、半田裕久で構成した。

「糖尿病手帳」を渡す。開業医と中核病院の専門医がそれぞれ検査結果や治療内容を記録して情報を共有。

取材班は木村彰、滝順一、阪本浩伸、大林尚、山口聡、田口正則、清水美宏、名波彰人、宮越慎哉、中前博之、木原まゆみ、堤篤史、前村聡、西村峻、半田裕久で構成した。

「糖尿病手帳」を渡す。開業医と中核病院の専門医がそれぞれ検査結果や治療内容を記録して情報を共有。

取材班は木村彰、滝順一、阪本浩伸、大林尚、山口聡、田口正則、清水美宏、名波彰人、宮越慎哉、中前博之、木原まゆみ、堤篤史、前村聡、西村峻、半田裕久で構成した。

「糖尿病手帳」を渡す。開業医と中核病院の専門医がそれぞれ検査結果や治療内容を記録して情報を共有。

取材班は木村彰、滝順一、阪本浩伸、大林尚、山口聡、田口正則、清水美宏、名波彰人、宮越慎哉、中前博之、木原まゆみ、堤篤史、前村聡、西村峻、半田裕久で構成した。